

## 「特別活動」の事例

個 別 の 人 権 課 題		高 齢 者		
校 种	高等学校	3 つ の 側 面	知 識 的 側 面	
対 象 学 年 等	全学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	◎
教 科 等	特別活動		技 能 的 側 面	◎
单 元 名	スマホ教室			

### 1 目 標

学校の特別活動における「生徒会活動」の目標は次の通りです。

- (1) 生徒会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し、行動の仕方を身に付ける。
- (2) 学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定することで、よりよい人間関係を形成する力を身に付ける。
- (3) 自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を養う。

### 2 概 要

本事例は、特別活動における生徒会活動の実践の一部です。様々な学校行事を通じて自分たちの地域に住む方々と交流する中で、スマートフォンの操作方法等が分からず、取扱いに困っているという声を多くの高齢者の方々から聴いたことをきっかけとして、この取組を始めました。

学校近くのＪＲの駅に隣接する「待合プラザ」のスペースを利用して、毎週水曜日の16時からスマートフォンの操作に困っている高齢者の方々に、生徒が一対一で操作方法をアドバイスする活動を、「スマホ教室」と名付けて行うことにしました。高齢者の参加は任意ですが、毎週数名の方々が訪れ、生徒と交流を図っています。

電車の待ち時間と地域の施設を上手に活用して、高齢者の方が日常的に抱えている課題を解決することに資するとともに、生徒と地域の高齢者が直接触れ合う機会を創出することにもつながっています。

### 3 人権教育との関わり

高齢者が日常的に感じている不便さや困り感について、当事者から直接声を聴くとともに、その立場に立って想像力を働かせて考えたりイメージしたりすることで、他者の痛みや感情を共感的に受け止めるための豊かな感受性等を育むことにつながっていると考えられます。

また、世代の異なる人々との交流を通して、相手にとって分かりやすい説明の順序や仕方を具体的に考えるなど、適切なコミュニケーションの在り方についても実際に体験を通して学び、実行できる機会となっています。

3つの側面については、次のような内容を育成することができると考えられます。

価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	多様性に対する開かれた心と肯定的評価 社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度
技 能 的 側 面	他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能 他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能

## 4 実際の様子と生徒の感想



スマホ教室を行う場所に選んだのは、自分たちが毎日の登下校に利用するJRの駅の隣にある「待合プラザ」のスペースです。自分たちの地域の空き施設を利用することで、地域資源の有効活用にもなります。開催日時を待合プラザのスペースに掲示し、高齢者の方が参加しやすいようにしています。

### スマホ教室の様子



この日は3人の高齢者の方が参加されました。参加者全員で手指消毒を行い、透明なアクリル板も設置して新型コロナウイルス感染症への対策を徹底します。

高齢者の方々は、それぞれ困っていることや教えてもらいたいことが異なっており、それらの内容に応じて生徒が操作方法等をアドバイスしています。SNSに関するセキュリティについてアドバイスすることもあるそうです。

### 実際にアドバイスをしている様子



お年寄りが持参された資料等も読みながら、詳しく説明していきます。「小さな文字が見えづらい」「長押しってどうするの?」といったお年寄りからの声に丁寧に対応しています。

### ■■■ 3つの側面との関わりが見られる生徒の感想（抜粋）より ■■■

#### 【価値的・態度的側面】

- ・私にはわかる言葉でも、高齢者の方には分からぬ言葉があることが分かりました。高齢者の方に分かる言葉で伝えていくように気を付けていきます。

#### 【技能的側面】

- ・スマホの操作の何に困っているのか、しっかりと話を聞くようにしています。「ここを押してください」とアドバイスしたり、「私がやってもいいですか」と声をかけて私が操作したりします。どうすれば分かりやすく伝えることができるか、考えるようになりました。